

パテント紹介

鉄道総研は2007年4月1日現在で、2237件の特許権等を保有しています。今回、これらの中から、実際に各方面で利用されているもの、または活用可能と考えられる特許権等について幾つかご紹介致します。この機会にぜひ、実施のご検討を頂ければと思います。

施設関連

○現場打ち工法及び掘削装置

(出願番号:特願2003-361012)

掘削時に孔壁へのマッドケーキ付着を防ぐことで、打設された杭の支持力を向上できる工法です。

○アスファルト系構造材料を用いた構造物の施工方法

(特許番号:特許第3771999号)

配合材の最適化により、アスファルトの施工性や環境性能を大幅にアップしました。

○震央距離及びマグニチュード推定方法とそのための装置

(特許番号:特許第3695579号)

大地震ほどマグニチュードの推定に時間を要していた、従来の検知警報装置の課題を克服した、早期地震警報のための地震諸元推定方法です。

○ラダー型マクラギおよび車両用軌道

(特許番号:特許第3217932号)

保守量を低減し、高架橋の構造物音を解消できる「はしご」状構造の軌道です。

○踏切舗装板

(特許番号:特許第2887720号)

施工コストの低減と保守の省力化を目指して開発した、軌道にやさしい踏切です。

車両関連

○鉄道車両用スリップ防止材噴射装置:セラジェット (特許番号:特許第2950641号)

列車の走行中の空転・滑走防止用としてあらゆる車種で使用可能です。

○鉄道車両用多目的收容装置 (出願番号:特願2006-51788)

車両内に居場所のないベビーカー利用者や大きな荷物を持つ人などに、居場所を提供するための設備です。

電気関連

○列車検知装置:COMBAT(列車検知に無線を用いた閉そく装置) (特許番号:特許第3830312号)

列車検知に無線(マイクロ波トランスポンダ)を使用した低コストな新システムです。

○視覚障害者用誘導案内システム (特許番号:特許第3657434号)

鉄道における情報面のバリアフリー化を目指した、利用者に便利で、かつ安全な動的誘導案内を提供するものです。

○運転状況監視システムと運転状況監視プログラム、操作状況監視システムと操作状況監視プログラム

(出願番号:特願2006-239611)

簡単で安価なシステムによって安全性を向上させることができる運転状況監視システムです。